

♡ことばの力 ♡からだの力 ♡こころの力

# 園長室だより



城南学園幼稚園

園長 太田友子

平成 31 年3月1日

「小学校につながる確かな学びの基礎を培う」幼稚園

## おわかれ会

2月26日(火)、年長児とのおわかれ会を、保護者会の役員さんが中心になって企画・準備をし、保護者の皆さんとともに開催してくださいました。本園の伝統とも言うべき、保護者の皆さまからの愛情たっぷり、手作り感満載の「おわかれ会」でした。確かな成長を感じさせてくれる年長児を真ん中に、見送る子どもたち、そして保護者の皆さまとともに心温まる「いい時間」を過ごせました。心から感謝申しあげます。



## 雪遊び



2月21日(木)、年長児の子どもたちは、「六甲山スノーパーク」へ行き、存分に雪遊びを楽しんできました。雪そりのスリルは抜群で、先生たちも歓声をあげていました。友だちとそりを曳きながら坂を上っては、繰り返し滑り込んでいました。帰路のバスでは「先生、ぼくこの近くに引越してきたい!」との声も聞かれるほど楽しかったようです。幼稚園生活が残り少なくなってきた年長児の子どもたちにまた一つ楽しい思い出が増えました。



## ご存知ですか。『ひとすじのきもち』

星野富広さんをご存知ですが。体育の時間に思いがけない事故に遭ってしまい、首から下、手も足も自由が利かなくなってしまう、ベッドで寝て暮らすような大怪我をしてしまった人です。ある日、もう字も何も書けないと諦めていた星野さんが、口に筆をくわえてみて字を書いてみたら、ぶるぶるふるえながらもどうやら線らしきものが書けることを発見しました。そうして、手も足も動かない星野さんは、それから一生懸命に口に筆をくわえて字を書く練習をし、妻さんの手をかりながら、すばらしい絵も描けるようになりました。手も足も不自由なのに、一生懸命「ひとすじのきもち」で絵を描き、詩を書きしできたものだから心打つものがあります。

星野さんの詩をひとつご紹介します。

鏡にうつる顔を見ながら 思った  
もう悪口を言うのはやめよう  
私の口から出たことばを  
一番近くで聞くのは 私の耳なのだから

この最後の一行を、「一番近くで聞くのは、一番大切な我が子の耳なのだから」に置き換えてみてはいかがでしょうか。

子どもたちは大人たちの会話を、実によく聞いているものです。「どんな姿を見せているのだろうか」と、時には立ち止まって、自分を振り返ってみることも必要かもしれません。

昔から「子育ては親育て」と言われる所以です。「親の言うとおりに育たない」「親のするとおりに育つもの」うーん、これも、子育て経験者の一人として、実感、納得、猛省です。

「共に育てる」子育てのパートナーとして、互いに育ち合えたらと願っています。